

公共交通メールマガジン

平成25年9月
第24号

編集

国土交通省総合政策局
公共交通政策部

平素より、当メールマガジンを御愛読いただきありがとうございます。
肌寒い日も増え、地域によってはだんだんと木々も色づいてまいりましたが、読者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。
お手隙の際に本メールマガジンをご覧いただければ幸いです。
9月配信のメールマガジンは以下の内容でお送りいたします。

◎目次

- 交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会の開催について（交通計画課）
- 平成25年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰について（交通支援課）
- 新潟市における「接続バス体験試乗会」について（北陸信越運輸局）
- 「公共交通シンポジウム in 中部」の開催について（中部運輸局）
- 編集後記

○交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会の開催について（交通計画課）

交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会の開催について、お知らせします。

地域社会においては、鉄道、バス等といった地域の公共交通は、学生等の通学・通勤や、高齢者等の通院をはじめとする地域住民の生活の基盤であるとともに、地域経済社会の基盤でもあり、その維持・確保は重要な課題です。また、我が国全体では、少子高齢化や人口減少、地域の活性化や再生、環境問題等の重要課題への対応が求められており、このためにも、地域の公共交通の充実が必要不可欠な状況となっています。

しかしながら、地域の公共交通をめぐる問題については依然として厳しく、自治体において望ましい交通ネットワークやサービスを実現しようとする取り組みがなされる一方で、公共交通機関の利用者数は長期的な減少傾向にあり、地域によっては、不採算路線からの撤退など公共交通のサービス低下が散見される状況となっております。

こうした情勢を踏まえ、「日本再興戦略 -JAPAN is BACK-」（平成25年6月14日閣議決定）において、「地域の関係者間の役割分担と合意の下で公共交通の充実を図る仕組みの構築」について、今年度中に結論を得ることとされたところ です。

このため、この仕組みの構築を含め、今後の地域公共交通政策のあり方について、交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会にてご審議いただくこととし、9月11日に平成25年度第1回を開催しました。

平成25年度第2回以降は、委員によるプレゼンテーションや、地域公共交通に取り組む自治体、事業者からのヒアリングを行い、12月の第5回目に中間取りまとめを行うことを予定しています。本部会開催のお知らせや資料、議事概要・議事録については、今後、国土交通省のホームページに掲載します。

○交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会HP

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s303_koukyoukoutu01.html

○平成25年度第1回部会の様子

主な議題

- (1) 部会長の選任について
- (2) 地域公共交通部会の開催について
- (3) 地域公共交通の現状等について
- (4) 基本的な論点について
- (5) 今後の進め方について



議事概要

- ・ 浅野委員が部会長に、家田委員が部会長代理に選任された。
- ・ 議事に沿って事務局より資料の説明がなされ、これらの説明について、委員より質問及び意見が述べられた。

○平成25年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰について(交通支援課)

平成25年9月18日(水)に平成25年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われました。本表彰は、地域公共交通に関する取組みについて他地域の模範となるような顕著な功績があった団体を表彰するものです。今は、かしてつ沿線地域公共交通戦略会議、魚津市公共交通活性化会議、富士市地域公共交通活性化再生会議、若桜谷公共交通活性化協議会、八女市地域公共交通協議会の5団体が受賞し、太田国土交通大臣からそれぞれの団体の代表に表彰状が授与されました。

【受賞団体】

かしてつ沿線地域公共交通戦略会議



* 鹿島鉄道跡地をバス専用道として有効活用したBRTを導入し、定時性と速達性の確保を実現したほか、沿線自治会や高校生による利用促進やPR活動を展開。

魚津市公共交通活性化会議



* 地元NPO法人への市民バスの運行委託、市民バスを活用した商店街イベントの実施、地域住民による「バス・サポーター制度」の導入、教育機関との連携によるバスロケーションシステムの開発など、地域の総力を結集。

富士宮市地域公共交通活性化再生会議



* 従来型の補助制度を見直した新公共交通システムを確立するとともに、各事業を客観的に評価するための「富士宮市公共交通PDCA（事業評価）指針」の策定を通じて持続可能な公共交通の実現を目指す。

わかさだに 若桜谷公共交通活性化協議会



* 若桜町・八頭町が鉄道事業者として鉄道施設を保有し、若桜鉄道が運行する「公有民営」方式による鉄道事業の再構築により、継続的かつ安定的な運行を可能とした。

八女市地域公共交通協議会



* 6町村の合併を契機に、交通体系の再編を図り、路線バスと予約型乗合タクシーの連携によって交通空白地域を解消するとともに、導入前と同程度の経費で市民生活の質の向上を実現。

<参考：表彰の選考基準>

- (1) 住民、NPO、企業等の地域の多様な主体が、地域公共交通に関する取組みに参画していること。
- (2) 地域の実情に合った創意工夫が凝らされていること。
- (3) 事業の今後の自立性・継続性が見込まれていること。

○新潟市における「接続バス体験試乗会」について（北陸信越運輸局）

新潟市では、持続可能な公共交通体系の構築のため、接続バスを核としたBRT導入とバス路線再編による新バスシステムの導入に向けた取組みが進められていますが、今般、以下のとおり「接続バス体験乗車会」が開催され、このうち、関係者向け試乗会には、当運輸局からも交通企画担当者及び車両技術担当者が参加しましたので、その一部を紹介します。

◆一般向け試乗会（参加者 1 便あたり約 100 名）

「まちなかコース」

- 日 時 平成 25 年 8 月 31 日（土）9 時 00 分発～16 時 00 分発（7 便）
平成 25 年 9 月 1 日（日）9 時 00 分発～16 時 00 分発（7 便）

○ルート 新潟市役所～古町～万代～新潟駅（折り返し）

「鳥屋野潟南部コース」

- 日 時 平成 25 年 9 月 3 日（火）9 時 00 分発～16 時 00 分発（5 便）
- ルート 新潟駅南口～弁天線～HARD OFF ECO スタジアム（折り返し）

8月31日・9月1日
「まちなかコース」 所要時間：約30分

9月3日
「鳥屋野潟南部コース」 所要時間：約30分

◆関係者向け試乗会（参加者約 100 名）

○日 時 平成 25 年 9 月 2 日（月）9 時 00 分～10 時 00 分

○ルート 新潟市役所～古町～万代～栗の木バイパス～弁天線～鳥屋野潟公園線～女池 IC～電車通り～市役所

○参加者の感想

- ・予想以上にスムーズな運行で、気になっていた曲がり角も無理なく運行ができていました。しかし、実際に乗客を乗せて運行を行うには、混雑時の精算方法や季節等による運行状況の変化（特に積雪時）など、検証すべき課題も残っていると感じました。（交通企画担当者）
- ・接続バスの運転者が「路上駐車も少なく、普段運行している厚木市よりも走行しやすい」と言っていたとおり、走行自体に問題点はなく、乗り心地も良いものでした。ただし、信号機の間隔が短い箇所での停止や、混雑している時間帯の道路での走行等については体験できず、疑問は解消されませんでした。（交通企画担当者）
- ・全長が 18 m ということで安全に運行できるのかと疑問に思いましたが、車両の幅や最小回転半径については一般のバスとほぼ変わりなく、また後車両の内輪差を考慮する必要もないということで、実際に交差点を直角に左折した場合も、一般のバスとほぼ同様に走行できることが分かりました。（車両技術担当者）



また、関係者向け試乗会の後には、新潟市役所において、IC カード利用客や現金払客の担当に分かれた市職員約 130 人が参加して、多くの乗客が効率的に乗り降りする方法の検証が行われた他、道路管理者や公安委員会等の関係機関も参加して、交差点やカーブ・バス停付近等で走行中の車両を撮影しながら、日中と夜間の走行空間検証が行われました。

新潟市では、今回の取り組み結果を検証した上で、11月にも再度走行空間等の検証が行われる予定となっており、当局としても引続き必要な協力を行っていくこととしています。

○「公共交通シンポジウム in 中部」の開催について（中部運輸局）

地域に適した便利で使いやすい公共交通は、誰もが安心して暮らせるまちづくりには欠かせないものであり、よりよい地域をつくっていくためには、公共交通をまちづくりと一体的かつ計画的に考えていくことが重要です。

中部運輸局では、中部地方整備局と共催で、これからのまちづくりにおいて、公共交通はどのように活用できるかを考える機会として、11月28日に『公共交通を活用したまちづくり』をテーマに公共交通シンポジウムを開催します。

日 時 : 平成 25 年 11 月 28 日 (木) 13 : 30~17 : 00

会 場 : ウィルあいち 4階ウィルホール
〒461-0061 愛知県名古屋市東区上豎杉町 1

定 員 : 400 名 (参加費無料)

<内容>

○基調講演

『公共交通で描くこれからの「モノとコト」のまちづくり』 (仮称)
名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 松本 幸正

○事例紹介

『金沢市における交通まちづくりの展開』 (仮称)
金沢市都市政策局交通政策部交通政策課 課長 木谷 弘司

『住民にも来街者にも使いやすい公共交通をめざした取り組み』 (仮称)
八戸市都市整備部都市政策課交通政策グループ リーダー 畠山 智

○パネルディスカッション
『公共交通を活用したまちづくり』

モデレーター

名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 松本 幸正

パネリスト

岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授 橋本 成仁

金沢市都市政策局交通政策部交通政策課 課長 木谷 弘司

八戸市都市整備部都市政策課交通政策グループ リーダー 畠山 智

中部運輸局企画観光部 部長 村田 有

中部地方整備局建政部 都市調整官 片山 耕二

▽募集等につきましては以下の URL にてご確認ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tsukuro/info/pdf/25_11sinpoziumu.pdf

○編集後記

いつもご愛読いただきありがとうございます。国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課の中村です。

先日、2020年のオリンピック開催地が東京に決定し、世間はオリンピックムードでいっぱいですね。今回の東京オリンピックの開催の決定は、日本に大きな経済効果をもたらすだけではなく、交通の重要性の再認識といった効果も生んでいるように思います。開催地は東京ではありますが、これを機に、全国の交通問題への関心が高まるといいな、と開催地決定のニュースを見ながら考えておりました(実際にオリンピックを契機として動き出している事業者さんもいらっしゃるようです)。

ところで、実施競技についても、レスリング復活が決定したところですが、最近野球観戦の楽しさを知ってしまった当方にとっては、野球もぜひとも競技として追加されて欲しいものです…。

★全国に共有したい情報等ございましたら、下記問い合わせ先または最寄りの地方運輸局企画観光部交通企画課まで御連絡ください。

【問い合わせ先】

国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 中村

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3(中央合同庁舎 3号館 3階)

TEL : 03-5253-8274 (直通) FAX : 03-5253-1513

E-mail : koutukeikaku_joho@mlit.go.jp

国土交通省HP(情報発信のページ) :

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html

国土交通省総合政策局公共交通政策部ゆるきゃら のりたろう

